

## ①準備するもの

### いるものリスト

- 塗装用カップ
- 刷毛(ハケ)※水性用
- 小筆(あると便利)
- 軍手
- マスキングテープ
- レンガ×4つ(あると良い)



### 塗料についての注意



防腐・防虫・防カビ

コンポストとして使用する場合は、水性であることと防腐、防虫、防カビのものが、より長持ちします。

### その他

- 塗装用カップには、半分より少なめに塗料を入れた方が良いでしょう。
- マスキングテープは任意ですが、色のはみ出しを防ぎます。

## ②はじめる前に

### チェックリスト

- 刷毛(ハケ)の毛払いをする
- 地面や机などが汚れないように養生する
- 製品の汚れなどをはらう
- 調色する(好みの色を作る)
- 木切れ等に塗ってみて色合いをチェックする

### 刷毛(ハケ)について

カチコチ



Before

刷毛(ハケ)が、新品だったり毛先が固まってしまったりしている場合は、毛をほぐしてください。



After

### 底板は外しておく

板面にある溝が表と裏で本数が違います。なお、底板には塗装をしないで下さい。

本数：多い→中側  
少ない→外側



底板

### ③ 塗装をします

#### 1. 下側(底の部分)から

下側は特に腐食が進みやすいので、コンポストを倒して、目立たない下側を最初に塗ります。



#### 2. 刷毛(ハケ)全体に塗料をつけない



液だれ防止のために、塗料は刷毛(ハケ)の先端に染み込ませてください。

#### 3. 小口を塗る

小口面も忘れずに!



レンガの上に置くと小口が乾いていなくても作業を進められます。

※4,5ページの塗る順番は自由です。

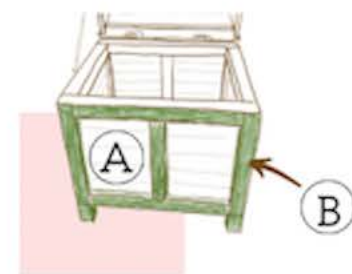
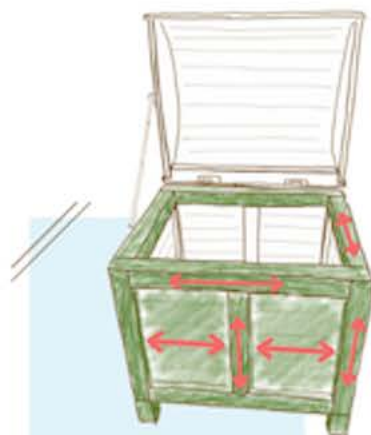
本体の中側は塗りません



狭く細かい部分を先に

塗料が垂れない程度に刷毛(ハケ)をしごきながら塗っていきます。

木目の方向に合わせて塗る



(A) 杉板(スギ板)・・・塗料を吸収しやすい

(B) 檜材(ヒノキ材)・・・塗りムラが起こりやすい

フタの天板部分から塗っていく



板と板の間は、小筆で塗るときれいに塗れます。

両サイドの半円板を塗る



丁番が付いている角材の塗装は任意



完成！



樹えりーぼっくすをどうぞよろしくお願ひ致します(^-^)  
お疲れ様でした！

とうりーあらいふ(同)  
スタッフ一同